

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肝硬変における筋脂肪症と骨疾患との関連性		
1. 研究の目的と方法	目的：本研究では、肝硬変患者さんの血液・生化学データ、背景因子、骨疾患（骨粗鬆症や骨折）と腹部 CT により評価される筋脂肪症との関連性を明らかにすることを目的とします。 方法：カルテの情報を収集し、評価・検討を行います。 *筋脂肪症とは、骨格筋組織内における脂肪蓄積が増加した状態を指します。		
2. 研究期間	承認日～2031年1月14日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院で2017年1月1日～2026年1月14日までにB型肝炎、C型肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、アルコール性肝障害、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、特発性が原因の肝硬変と診断された20歳以上の方。また、2017年1月1日～2026年1月14日までに通常の臨床内及び臨床研究①慢性肝疾患におけるサルコペニア(*)の頻度とリスク因子の同定、②自己免疫性肝疾患における骨粗鬆症の調査に参加し、サルコペニア、体組成、骨粗鬆症、骨折、骨折リスクを評価された方。 *サルコペニアとは筋肉量と筋力の低下により定義されます。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、骨折歴、骨格筋量や脂肪化の程度(腹部CTにより評価します)、握力、検査結果(血液検査、画像検査、骨密度、椎体レントゲン、生体電気インピーダンス)、治療内容や臨床経過	
	(4) 情報の取得の方法	・診療録から診療時のデータを収集します。 ・過去の先行研究(①慢性肝疾患におけるサルコペニアの頻度とリスク因子の同定、②自己免疫性肝疾患における骨粗鬆症の調査)で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科

	または研究 代表者	氏名	佐伯千里
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	富士市立中央病院 消化器内科 部長 金井友哉 (機関長の長 児島章)	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	<p>本研究は富士市立中央病院と共同で実施する研究になります。</p> <p>この研究で収集された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号を付与いたします。</p> <p>富士市立中央病院の情報は、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付</p> <p>情報の利用または提供予定開始日：2026年3月頃～</p>		
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科</p> <p>研究責任者：講師 佐伯 千里（さえき ちさと）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3201）</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。